

【物流フォーラム第4分科会】

1. テーマ：アフターコロナの倉庫業

2. 演 題：「ウィズコロナ時代の経営戦略」

3. 講 師：株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門
シニアマネジャー 坂本 謙太郎 氏

4. 講演趣旨：

従来の経済モデルでは、コスト効率最優先、大量生産・大量消費、国際分業などが追求されてきました。その結果、温暖化などの環境問題、貧困などの社会問題、国家財政破綻などが引き起こされました。このままでは地球も人類も存続出来ないため、持続可能な社会を実現するための取り組みが求められています。近年、ESGやSDGsなどが叫ばれていますが、「対応すべき義務がまた増えた」と捉える人が多いことも事実です。しかし、「新型コロナ」という変化の圧力が、変化を拒絶する防波堤を破壊したことにより、これまでの経済モデルのリセットはいよいよ不可避となっています。本当の意味で持続可能な社会を構築するためには、まさに今、新たな経営戦略の策定がカギとなるのです。

そこで当分科会では、ウィズ・アフターコロナ時代における経営戦略策定のための1つの考え方をご紹介します。具体的には以下の内容を予定しています。

①ウィズコロナ時代の経営環境と問題意識

- ・グレートリセット（業界構造の激変/業界そのものがなくなる）。
- ・しかるにその実態は「皿回し経営」に。
- ・目指す姿、その先にあるもの。

②変革意欲を示すために

- ・何もかも委ねられたら経営者だって困る。
- ・未来の社会を想像するために。
- ・「宮廷道化師」の存在。

③企業と事業の変革方法

- ・「不」「負」の解決と外販。
- ・このアプローチの限界？

④支える／応える を旨としてきた企業のための処方箋

- ・外側から考える。
- ・業界/業態に囚われずに個別解を探す。

恐らく、新型コロナ発生以前の状況に戻ることはなく、従来の方法では立ち行かなくなる可能性があります。新型コロナを契機としたこれからの経営戦略策定のヒントを得る良い機会です。未来を考える一助になれば幸いです。

5. 講師プロフィール：

英国立サリー大学経営大学院（MBA）修了。2001年より(株)日本総合研究所にて経営コンサルティングに従事。20年以上にわたって幅広い業種で経営トップ／経営企画部門を、経営戦略、ビジョン、中計、M&A 新規事業開発、海外戦略等のテーマで支援している。

長年の経験から「中計は廃止すべき」と主張し、それに代わる経営意思決定の仕組みを提言している。著書に『VUCA時代を乗り切る 2030 経営ビジョンのつくりかた』（日経出版）他。